

1

この地にリバイバルを

聖霊が四方から吹いてきて
この国を生かしてください
北も、南、東、西からも
今始まるリバイバルこの国に

満たしてください方

主よ私は飢え渴いて 今ここにきました
主よあなたに両手上げて 心からあがめます

※

主よ あなただけが 私を満たして下さい方
主よ あなただけに 賛美の歌を捧げます

注いでください

あなたの御前へと進んで行き
ひざまずいて祈り求める

※

手を高く上げて今 主よ賛美します
注いでください主の愛と恵みを
満たして下さい ×2

[主の臨在が心を満たす]

主の臨在が ころを満たす
主の臨在が ころを満たす

ころをきよめ ころを満たす
主の愛にふれたとき ころに平安が

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
=教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
=ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- ウクライナとロシアのために。戦争が終わるように。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。

信仰宣言

- 「私の家族は全員救われます」
「日本にはリバイバルが始まっています」
「私も用いられます」
「すべての問題は解決します」
「することなすこと、みな成功します」
「私のまわりには奇跡が起こります」
「すべてのことを感謝します」
「イエス様と一緒にですから」
「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



ヨハネは水でバプテスマを授けたが、あなたがたは間もなく聖霊によって、バプテスマを授けられるであろう。使徒行伝1章5節

祈りの小径(こみち)

Number: 158 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

使徒行伝1章1～5・14節

1 テオピロよ、わたしは先に第一巻を著わして、イエスが行い、また教えはじめてから、2 お選びになった使徒たちに、聖霊によって命じたのち、天に上げられた日までのことを、ことごとく示した。3 イエスは苦難を受けたのち、自分の生きていることを数々の確かな証拠によって示し、四十日にわたってたびたび彼らに現れて、神の国のことを語られた。4 そして食事を共にしているとき、彼らにお命じになった、「エルサレムから離れないで、かねてわたしから聞いていた父の約束を待っているがよい。5 すなわち、ヨハネは水でバプテスマを授けたが、あなたがたは間もなく聖霊によって、バプテスマを授けられるであろう」。

14 彼ら(弟子たち)はみな、婦人たち、特にイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちと共に、心を合わせて、ひたすら祈をしていた。

マタイによる福音書3章11節

わたしは悔改めのために、水でおまえたちにバプテスマを授けている。しかし、わたしのあとから来る人はわたしよりも力のあるかたで、わたしはそのくつをぬがせてあげる値うちもない。このかたは、聖霊と火とによっておまえたちにバプテスマをお授けになるであろう。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

- 人類の歴史は、アダムというひとりの人から始まりました。
- イスラエルという神の選びの民は、アブラハムというひとりの人から始まりました。
- 全人類の救いの御業は、第二のアダムであるイエス・キリストおひと方によって完成しました。ただ、
- 教会は、ひとりではなく、「みんなの者」が共に心合わせひたすら祈りをしていた時に誕生したのです。

4

みことばの解説

ペンテコステ(聖霊降臨記念日)を前にして、改めてイエス様が「聖霊によって」お命じになり、またお約束なさったことを心にとどめます。

それは…

1. エルサレムから「離れない」こと
父の約束を「待つ」こと
2. 聖霊によってバプテスマを「授けられる」ことです。

神様が御業をなさそうとされる時に、その場所にいらないことは残念なことです。同時に、期待して待っていないければ、何が起こったかも気付かないかもしれません。1. 2は私たちに委ねられた選択です。エルサレム(都)とは神殿のある場所です。主のご臨在がある場所であり、犠牲の捧げ物が捧げられるところであり、人々が礼拝するために集まる聖なるところです。

- ・主のご臨在をいつも意識し
- ・生きた聖なる供え物を捧げ
- ・まことの礼拝者となる

これがエルサレムにとどまって、父の約束を待つ姿勢と言えるでしょう。

もう一つは、聖霊によって「バプテスマされる」ことを、祈り求めることです。これはバプテスマのヨハネがした「水のバプテスマ」と対比されています。彼は「悔い改め」の洗礼を受けました。イエス様は、「方向転換(メタノイア・悔い改め)」だけではなく(それも大切ですが)、「前進」することも願っておられるのでしょう。

「共に心合わせ、ひたすら祈りをしていた」(1の14)弟子たち120人のように、私たちも、イエス様ご自身の口から約束された「聖霊によるバプテスマ」を求めて、期待して、熱心に祈りたいと思わされます。

Welcome Holy Spirit !